

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



2017
2月号

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

第115号 2017年2月10日 大和市民活動センター 拠点やまと発行



【市民活動にこの人あり】第11回

今回は、滝本美知留さん(右端)。
こども食堂のスタッフと(中面参照)



最優秀賞 受賞作品「金魚のゆめ」 栗原のゆりさん／南林間小4年

私の家の金魚が、もしも海でおよげたらというゆめを見ている所です。
海は今年の夏休みに行った沖縄の海です。

2016年度の表紙は、笹倉鉄平版画ミュージアム主催の
やまと子ども絵画大賞入賞作品を掲載しています。
第8回(2016年)のテーマは「色いろいろ」です。

出張！ボランティア総合案内所

ボランティアに興味がある人や始めたい人が気軽に相談できる「出張！ボランティア総合案内所」。いまからでもボランティア募集チラシの配架は可能です。チラシを置きたい方は、市民活動課(☎046-260-5103)まで。ボランティアをされたい方は、直接会場にお越しください。

日時：2月15日(水) 10:00～15:00

会場：イオン大和店 2階専門店街側エスカレーター横
※高座渋谷駅東口から徒歩4分

主催：大和市・大和市民活動センター

5団体から補助金の応募が

1月16日に募集を締め切った市民活動推進補助金に9件の相談が寄せられ、最終的に5団体から企画書の応募がありました。「めばえ」3団体、「はぐくみ」2団体の計5団体です。これら団体の公開プレゼンテーションを、下記の通り開催いたしますので、是非お越しください。

日時：3月11日(土) 10:00～12:30

会場：大和市勤労福祉会館 3Fホール
※鶴間駅東口から徒歩6分

主催：大和市・大和市民活動センター

「人の集まる魅力的な企画」の立て方

第75回 共育セミナー

駐車場が少ないから
人が集まらない!?



地ビールやワインもある企画にして
PRすれば、駐車場が少なくてもOK。

1月28日(土) / 大和市民活動センター 会議室にて開催

仕組み・仕掛け
づくりアナリスト
杉下由輝さん

当センター主催の第75回共育セミナーが、計21名の参加で開催されました。役に立つお話が盛りだくさんでしたので、その主な内容を、ご紹介します。

・100-1は99ではない。ひとつのミスでゼロになることもある。レストランで料理にゴキブリが入っていたら二度と行かない。もちろん1+1が2ではなく3以上になることも。

・人にはそれぞれ役割がある。会社で総務は売上を上げていなくても会社を支えている。「みこし乗る人、かつぐ人、そのまたわらじをつくる人」。ビジネスでも市民活動でも同じ。

・【カマスの法則】水槽にカマスとエサの小魚をガラス板で仕切って入れると、カマスは最初は小魚めがけて突進するが、食べられないことを知ると、ガラス板を取り除いても食べなくなる。どうすれば食べるようになるか?→新しいカマスを水槽に入れればよい。ガラス板のように「どうせできない」と見えないバリアを自分で作っていることが多い。新人を入れるとバリアを壊せる。

・【ゴミ箱の法則】ゴミ箱にゴミを捨てたら怒られたがなぜか?→売りものだったから、まだゴミ箱として使えない。つまり**時間軸**で考える。いまはダメでも来年ならOKかもしれない。成人式目当ての着物のDMは、半年前では遅い。1年前の成人式の頃が、19歳も意識しだし狙い目。

・【マッサージチェアの法則】若いOLにマッサージチェアが売れているので、ピンク柄やキャラクター入りのものを発売したが売れなかったのはなぜか?→自分のためではなく親のために買う人が多かったから。つまり**自分目線ではなく相手目線で考える**。カルピスも、暑いときにすぐ飲めるようにカルピスウォーターを発売して業績はV字回復した。

・昨夏に開催した第5回「寒川びっちょり祭」。これまでのお祭りをプロレスとコラボにして開催。同時開催ではなく時間をずらし15時までお祭り、それ以降をプロレスに。レスラーに弁当提供ではなく、お祭りの模擬店の食券を渡し、お祭りでも食べ歩きしてもらい盛り上がる。SNSでも拡散され、来場者は過去最高に。プロレスと同日開催が「**仕組みづくり**」。食券方式が「**仕掛けづくり**」。この2つは違う。

・「伝える力」と「伝わる力」は違う。キャッチコピーは15字以内で。その方がわかりやすく覚えやすく紙面にも収まりやすい。これが「伝わる力」。

・集客力から留客力へ。前者は仕組み、後者は仕掛け。来てもらうのは手段、留まりお金を使ってもらうのが目的。**手段と目的の違い**を意識。ヤマハピアノ教室もピアノを売る手段。

・質でダメなら量でやれ!→同じ食べ物でも「メガ盛り」は絵になりにやすくSNSで拡散しやすい。同じネットでも、フェイスブックの「いいね!」は、町内会回覧板のハンコと同じで、集客には必ずしもつながらない。

・【チラシの作り方】①0.5秒のアイキャッチ。チラシを選ぶのは一瞬。アイキャッチが大切。②重要情報は上1/4に集約(ラックに入れてよく見える)。③地図を必ず入れる。④電話番号は市外局番から入れる。いずれも相手目線の発想。

・【チラシの置き方】1カ所5枚程度で。たくさん置くのは自己満足。一番手前に目立つように。ポスターなら外向きに。

・【ポスティングのコツ】無差別ではなく効率的に。たとえば、子ども向けイベントは子どもがいる世帯に。子ども用の自転車・傘・洗濯物があるかどうかで外から見分けられる。

・【協賛金の集め方】「会社のPR・社会貢献・イメージアップ」ではダメ。地方にいる地元出身者にアプローチ。地元のために何かしたい意識があり有効(ふるさと納税方式)。

・【フィルム・コミッション】(ワンストップで映画撮影地の便宜を図るサービス組織)は、地域振興にいまや欠かせない。映画・ドラマ・CMで使われた場所は、長く観光名所になる。「ローマの休日」の「真実の口」、「北の国から」の富良野市、スカイラインのCMで使われた美瑛町のポプラの木など。



お気軽に!
定例相談日

◆市民活動相談=2月13・27日(月)・3月13日(月) ※毎月第2・4月曜の10~17時
◆ボランティア相談=2月11・25日(土)・3月11日(土) ※毎月第2・4土曜の10~17時
◆パソコン相談=2月14・28日(火)・3月14日(火) ※毎月第2・4火曜の14~17時
※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

子どもには、くつろげる場を 保護者には、ほっとできる時間を

【市民活動にこの人あり】第11回

NPO法人 サポートハウス ワン・ピース
滝本美知留さん

市民活動といえば、まずはボランティアというイメージがつきものだが、障害児の児童デイサービスを始めた滝本さんの場合は違った。もともと困っている人がいれば助けずにはいられない滝本さん。「子どもたちが放課後を過ごせる場所があれば」という親たちの声を受け、この事業を始めることにしたのは2003年。当時はまだデイサービスはなかったが、折から支援費制度（2006年からは障害者自立支援法に移行）が始まりタイミングもよく、大和市の協力も得られた。大和南に使える空き家もあった。「ボランティアでは何かあったときに責任がとれない」とNPO法人の認証を取得。2004年4月から定員10人で週1,2回の受け入れから始めた。

始めると利用希望者は後を絶たず、2007年には大和中央に2つ目の事業所を作り、それでも足りなくなり、南林間に3つ目、4つ目の事業所を設置。この2事業所は2012年に、児童保育施設があったイトーヨーカドーそばの現在の鶴間に集約。1つ目、2つ目の事業所も昨年3月に大和中央の現在地に移転し、今日に至っている。

「障害いを持つ子どもたちは、学校で人一倍頑張っています。放課後は頑張らなくていい、くつろげる場が必要です。そのなかで友達を意識しながら、その子の負担にならないかわり方ができれば、自己肯定感や社会性も育めます。また、我が子から片時も目が離せない親ごさんにも、ほっとできる時間を持ってほしい」と滝本さんは思いを語る。

子どもたちと、パラシュートを使ったレクリエーションをしているところ。写真奥中央で立っているのが滝本美知留さん。

昨年は「こども食堂」も始めた。さまざまな事情で「孤食」になっている子どもたちや休みなく頑張っている親たちと「たまには一緒にめしでも」という考えから「たまめし食堂」と命名。これは滝本さんの知人が、同じような考えをもっていたことを互いに知り、6人が集まり5月から急速に話が具体化。ワン・ピース本来の事業ではないが、そのさまたげにならない範囲内で事業計画にも取り入れ、利便性がよくキッチンもあることから鶴間の事業所を会場として提供。気になる子どもたちに声をかけるなどして、7月の第1回には大人5名、子ども14名が集まった。以後、原則第4土曜日の正午から毎月開催。その後も毎回20人ほどが集まっている。

しかし、こども食堂を必要としている人はもっといるはず。歩いていける中学校区にひとつずつできることが理想と抱負を語る。月1回とはいえ、そうそう楽ではない。しかし、滝本さんのような、しなやかだが、ぶれない思いの人に支えられ、社会に必要とされている事業は、確実に社会に根を張っていくに違いない。



イベント・募集情報



第12回すてきな子育て 愛情はどうやって伝えたいの

親と子のタッチ・プログラム(FTP)を体験しつつ学びます。親子の身体接触(タッチ)を通じて愛情を育み、より良い育児方法を学ぶプログラムです。子育てとは本来楽しく親が成長できるものだ実感できるはず。会費無料・予約不要です。

日時：2月19日(日) 13:10～(開場12:45)
会場：大和市勤労福祉会館 3F ホール／鶴間駅より6分
講師：麻生(新井)典子氏／心理学博士
会費：無料／予約不要(直接会場へ)
主催：神奈川県指定NPO法人地域家族しんちゃんハウス
TEL&FAX 046-275-7955
MAIL info@shinchanhouse.com

Ed.(エド)ベンチャー教育講演会 シフトダウンへの冒険ー「弱さ」の思想と生き方ー

展望すべき社会のあり方を模索してきた教育講演会。今回の講師は自称「ナマケモノ」教授の辻信一さん。「スローライフ」や「GNH」をコンセプトにして環境文化運動を進める一方、「スロービジネス」にも積極的に取り組んでいる方です。

日時：2月25日(土) 13:30～16:30 (開場13:00)
会場：渋谷学習センター2F多目的ホール/高座渋谷駅より2分
講師：辻信一氏／文化人類学者・明治学院大学国際学部教授
会費：1000円(学生500円、高校生以下無料)
主催：NPO法人 教育支援グループ Ed.ベンチャー
TEL&FAX 046-272-8980
MAIL toiwase@edventure.jp

合唱を中心に全14団体が発表 大和市音楽フェスティバル'17

市内で活動している合唱サークルなど音楽団体の発表の場として開催されます。今年の参加は合唱を中心に14団体。ピアノやフルートの発表もあり、最後は南林間中学校の合唱で締めくくります。演奏の切れ目なら、途中入退場も自由です。

日時：3月10日(金) 13:00～16:00 (開場12:30)
会場：芸術文化ホール メインホール／大和駅より3分
会費：無料／予約不要(直接会場へ)
主催：大和市音楽フェスティバル実行委員会
問合：合唱団はもる会 (080-2035-5147/岡田)

GOOD NEWS だいちゃん 無事帰国しました！

拡張型心筋症に見舞われ、昨年7月に米国で心臓移植手術を受けていた「だいちゃん」こと迫原大輝ちゃん(2歳)が、1月21日に無事帰国し27日に自宅に戻りました。8月の退院後7回の検査でも拒絶反応はなく、帰国が許されたそうです。

行きと異なり通常の旅客機で空港に着いただいちゃんは元気そのもの。ロビーを駆け回りご家族が手を焼くほどだったとか。当センターも「だいちゃんを救う会」設立時に相談を受け、全面的に支援をしていましたので、ひと安心。健やかに育ってほしいと思います。なお、募金の余剰金については、同じように重い心臓病の患者さんに寄付する意向だそうです。



＜出演しました！＞ 録音CDが大和市民活動センターにあります。

第283回◆1月17日放送分

大和落語演芸倶楽部

～結成10周年。新春落語演芸会は大盛況～

出囃子に続いて落語という今までにない始まり。スタジオのガラス越しに眺めていた人はいたものの「人に笑いを供給する感じでやっているの観客がいない落語は針のむしろの気分」と間寛平さん似の相模亭みの助さんこと会長の河戸実さん。マラソン好きも似ていて南極大陸マラソン2位の实力派。当倶楽部は2007年に桜が丘学習センターで開催された「団塊世代の落語講座」参加者が終了後に結成し、今年4月で10周年。「歳も増えたけどメンバーも増え16人になりました」と嬉しそうに話されました。

大和家のりのみやさんこと高橋ミヤさんは、みの助さんが、大好きな間寛平さん似だと聞いて始めたとのこと。人前で話すのは慣れているのに落語は奥深くで難しいとか。実はミヤさんはサウンドテーブルテニスの全日本9回優勝の達人。リクエスト曲もアリスの「チャンピオン」。障害をもった頃に家族に励まされ立ち直ったきっかけになった曲とのこと。演芸会当日は定員オーバーの大盛況。今後ホールで定期的に落語演芸会を開催したいと抱負を語りました。

第284回◆1月31日放送分

NPO法人かながわ県央マンション管理組合ネットワーク

～文化祭を開催したり、井戸を掘ったり工夫次第～

シャンソン好きな会長の向井さん。「行政にはマンション管理費や修繕積立金の滞納者に対する窓口がないのが現実です。建物の老朽化や役員不足の相談も当ネットが行っています」と話されました。そのためマンション管理相談を、毎月第3土曜日の午後到大和市役所1階で行っています。

大和市中央にあるマンション管理組合の副理事長で釣り好きな三浦さんは、大規模修繕工事をきちんと進めたいと修繕委員会を立ち上げ、県央ネットに相談し入会しました。せっかく同じ所に住んでいるのだから顔見知りになろうと、昨年の10月にはマンションの文化祭を開催。年配の方が子どもに折り紙を教えるなど交流も生まれ、人との関わりが増え、役員が代わっても続けてほしいとの要望も。

中央林間のマンション管理組合理事長でクラシックカー好きの斎藤さん。お住まいのマンション敷地内に井戸を掘り、災害時に一番困るトイレ対策として常時井戸水が使えるようにしたとのこと。これは大切と再認識させられました。

2月
の
出演

第285回◆2月7日放送

こども食堂プロジェクト@やまと

「孤食」が急増中の今、お腹も心も温まる居場所を目指し「たまめし食堂」を始めました（中面参照）。

第286回◆2月21日放送

就労移行支援事業所 ミライでらす

障害をかかえた方やその家族の不安を解消し、有為な人材を世に送り出すづくりの場所(テラス)です。

※FMやまとは、ネットにつながったPCなら、世界中どこでも聞けます。→FMやまとホームページの「ネットラジオ」をクリック！

★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆



◆タイ友人の長女が突然やって来て「明日四国しまなみ街道。明後日フェリーで北海道へ」。すごい観光プランに呆れガイドブックを見たら日本語案内欄でホーグ・ナム(タイ語でトイレ)がBenkiとなっていた。望月

◆先月下旬、5日の間に学習会・講座・講演会・演奏会の開催案内。演奏会は講演会と重なり却下したが、学習会などには参加。得たものは多い。ちょっとしんどいなと思いつつでも参加できた。まだ動けるかな?! 櫻井み

◆第一腰椎圧迫骨折が判明したと、姉からのメール。年齢を重ねると、思いがけないことが起こる。日々の暮らしに気をつけなくてはと思う。計画通り、初夏の奥入瀬に行けるよう、治療に専念してもらいたい。 石川

◆年中行事? くしゃみ、鼻水、鼻詰り、始まりました花粉症。眼鏡の曇らないマスクが、あることを知り、早速進化したマスクを購入。おかげでバス、電車の乗り降りに眼鏡が曇ることなく安全で安心。 櫻井貞代

◆「新幹線に乗ってみたい!」と言い出したうちの子のため、のぞみで行く名古屋1泊2日旅行を企画。料金55,000円! 車で行けば半額で済むが、お金の問題ではないのだと自分に言い聞かせている。 市民活動課/椎木

◆1月は夫との外出が多かった。ライブ、映画、展覧会。60才以上、ペアチケットと割引は嬉しい。帰りは鼻をかき、相席の店で若者や外国からの人と会話を楽しむ。その上、一人分の会計でお得な気分だった 関根

◆二十四節気をさらに三等分した七十二候が面白く時々読んでいる。鳥や虫、植物、風のことが出てきて読み方も音のリズムも楽しい。2月24日頃は「霞始(かすみはじめ)てたなびく」というらしいです。 中山

◆生活クラブ生協の宅配でキャベツが11個も届きビックリ。ネット発注で1と入力するところを間違えて11と入力してしまつたらしい。恥を忍んで近所に配ったが、対面や電話なら防げるネットのリスクを実感! 徳留

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手この手」第115号 発行日: 2017年2月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館: 月~土 9:00~18:00>
〒242-0021 大和市中央1-5-1 (大和駅南口より徒歩2分)

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788

※祝日も9:00~18:00で開館しています。

E-MAIL: yamato@ar.wakwak.com

URL: http://www.kyodounokyoten.com/